



平成30年5月9日

各位

会社名 株式会社 十八銀行  
代表者名 代表執行役頭取 森 拓二郎  
(コード番号 8396 東証第一部、福証)  
問合せ先 総合企画部長 安達 圭  
(TEL. 095-828-8099)

## 剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当行は、平成30年5月9日開催の取締役会において、下記のとおり平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議しましたのでお知らせします。

なお、本件は、平成30年6月22日に開催予定の第243期定時株主総会に付議する予定です。

### 記

#### 1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年11月8日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基準日	平成30年3月31日	同左	平成29年3月31日
1株当たり配当金	4円50銭	4円	5円
配当金総額	771百万円	—	856百万円
効力発生日	平成30年6月25日	—	平成29年6月26日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

#### 2. 理由

当行は、年間1株当たり6円の安定配当に加え、業績連動配当を行うこととし、業績を反映した利益配分を実施しております。安定配当と業績連動配当を合わせた配当性向は25%程度を目途と考えておりますが、各期の具体的な業績連動部分の配当金につきましては、その時々の経済情勢、財務状況等を勘案し、各期の業績が明らかになった時点で決定する方針としております。

平成30年3月期の期末配当につきましては、平成29年度の業績を勘案し、株主総会の承認を前提に、前回予想の4円から50銭増配し、4円50銭の配当を実施することといたしました。

この結果、当期の1株当たりの年間配当額は、既に実施しております中間配当における3円と合わせて7円50銭となります。

#### (ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績(平成30年3月期)	3円00銭	4円50銭	7円50銭
前期実績(平成29年3月期)	3円00銭	5円00銭	8円00銭

以上